

会 議 録

会 議 の 名 称	第1回川島町地域公共交通会議	
開 催 日 時	令和5年8月25日(金)午前10時から11時20分	
開 催 場 所	川島町役場 2階 中会議室	
議 題	(1) 地域公共交通計画の概要について (2) 中学生アンケートについて (3) かわみんタクシー乗り合わせ推進について (4) 東武バスの運賃値上がりについて (5) 公共交通施策の今後の流れについて (6) その他	
公開・非公開の別	公 開 (傍聴者1名) ・ 非公開 ・ 一部非公開	
非公開の理由 (非公開の場合のみ)		
出席者	委 員	瀬間委員、飯島委員、小宮委員、荒井(謙)委員、斉藤委員、関根委員、荒井(理)委員、中山委員、新井委員、石島委員、友野委員、久保田委員、谷島委員、坂本委員
	事務局職員	政策推進課 藤間課長、江間主幹、木村主査、笛木主事
配 布 資 料	会議次第、資料1~13	
審議会等の内容・概要		
<p>1 開 会</p> <p>2 委嘱状の交付</p> <p>3 自己紹介(資料1、2)</p> <p>4 町長あいさつ</p> <p>5 会長あいさつ</p> <p>6 議 事</p> <p>(事務局より議事に入る前に、川島町審議会等の会議の公開に関する要綱に基づき、会議は原則公開であることを説明する。なお、会議公開は議事より行うこととし、会議録を公開するが、発言委員名は記載しない旨で委員より了承を得る。)</p> <p>会 長：議事に入る前に、議事録署名委員を指名する。瀬間委員、飯島委員に願います。</p>		

(1) 地域公共交通計画の概要について（事務局にて資料 3、4 を用いて説明。）

(2) 中学生アンケートについて（事務局にて資料 5、6、7 を用いて説明。）

委員：今回のアンケートはなぜ町民全体ではなく、中学生に限定して実施したのか。

事務局：今回のアンケートについては、高校生の通学支援を検討するうえで、まずは中学生の意見を聞きたいということで実施したものである。

委員：中学生だと、実際に高校に通っていないことから、具体的な不便等はわからないのでは。

会長：問 17 で「高校へ通学の交通手段は、高校選択の理由になるか」と聞いているが、やはり影響は大きいのか。

委員：地区によっては町外に出やすい地区、出にくい地区がある。自転車等でバス停まで移動し、公共交通機関で通学しようとする、朝練等と時間が合わなかったり、自家用車と比べ時間がかかってしまったりする現状がある。交通手段は高校選択にあたっての優先順位は高いだろう。

会長：かわみんタクシーで、希望する高校生を乗り合いでバス停まで送迎するという方法が実現した場合、いかがか。

委員：現状として、かわみんタクシーの運行時間が通学時間とあっていないことから、難しいかと思うが、通学時間に合わせることが可能ならば、需要はあると思う。

委員：通学で毎日利用するとなると、費用負担の面は課題になってくるだろう。

委員：学生いちねん定期券については、浸透していないのが現状である。経済支援の観点から、町内の中学生が全員制度を知っているというくらい、徹底して周知を図ってもよいだろう。

委員：保護者はお得な情報にアンテナを張っている。中学生にアンケートをとるより、保護者にアンケートを取ったほうが周知になるのでは。

事務局：アンケートの実施にあたり、全保護者に通知しており、その際に学生いちねん定期券とかわみんタクシーの案内を載せている。今後、フィードバックの際に、再周知を予定している。

(3) かわみんタクシー乗り合わせ推進について（事務局にて資料 8、9 を用いて説明。）

委員：町や川島タクシーには、乗り合わせ方法等について、問合せはあるか。

事務局：問合せは多くないが、窓口申請に来られた方には、お得に乗れる乗り合わせ方法等を説明している。

委員：会員証をもっていなければ利用できないのではないかと、基本的な部分が誤解されているのではないか。ホームページに基本的な部分についてもわかりやすく掲載する工夫が必要だろう。

事務局：ご指摘のとおりである。ホームページの改善を図っていく。

委員：乗り合わせの推進の想定はいかがか。方面やニーズが異なる人の乗り合わせを

想定しているならば、乗り合わせ率は上がらないのでは。

事務局：まず友達同士で同乗していくことからスタートしていくことで想定している。

委員：利用している方に周知していくことを考えると、乗車いただいた時に、タクシーの中で周知するのが良いのではないか。

委員：同じ方向で同じバス停に行く高校生の乗り合わせが可能であれば、そこを周知していくことも必要だろう。

委員：高校生の利用にあたっては、やはり運行時間が大きな課題となる。

委員：ボランティアによる送迎が現在実施されているが、保護者としてはどのようなサービスを希望しているか。

委員：バス停までの送迎でなく、駅または学校まで送迎してほしい。

委員：ボランティアによる送迎活動については、町は把握しているのか。

事務局：把握しており、町が所有している車を貸している状況である。

委員：情報を集約し、既存の公共交通サービスとの共存の仕方を考えるべきだろう。

委員：ボランティアで実施するにあたり、対価等はもらっているのか。

事務局：無料のボランティア送迎で実施しているが、運行に係る燃料代は利用者負担で実施している。

(4) 東武バスの運賃値上がりについて（事務局にて資料 10、11 を用いて説明。）

(5) 公共交通施策の今後の流れについて（事務局にて資料 12、13 を用いて説明。）

会長：ボランティア送迎の内容はアンケートに盛り込まないのか。

事務局：現在は 1 団体しかなく、利用者も 10 数人という状況である。ボランティア送迎の団体が身近に増えれば質問項目に入れることも考えたい。

委員：実際に利用している方にヒアリングを実施することは可能か。

事務局：可能である。実施に向けて調整する。

(6) その他

事務局：次回の会議は高校生アンケートの集計後、12 月から 1 月頃の開催を予定している。追って通知する。

7 閉 会

署 名	瀬間 さやか
	飯島 久美子